

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児支援教育特論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科	学 期	後期	教室名	1003
担 当 教 員	鎌田 荘平				
実務経験とその関連資格	作業療法士として重症心身障害児・者施設で9年間勤務。 重症心身障害児・者施設で脳性麻痺を主とした肢体不自由児、神経発達障害群に対し関わる。 現在も定期的に臨床に携わる。				
《授業科目における学習内容》					
後期では、各専門家同士、どのように臨床で支援を組み立てていくのかを学びたい。					
《成績評価の方法と基準》					
各回の感想文、アセスメントシートの提出					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	後期授業の構築			
	各コマにおける授業予定	3職種による学びを深めるためのディスカッション			
第2回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	ケースステディ①			
第3回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	ケースステディ②			
第4回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	ケースステディ③			
第5回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	ケースステディ④			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定	ケースステディ⑤		
第7回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定	ケースステディ⑥		
第8回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定	ケースステディ⑦		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定	ケースステディ⑧		
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定	ケースステディ⑨		
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定	ケースステディ⑩		
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定	ケースステディ⑪		
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定	ケースステディ⑫		
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定	ケースステディ⑬		
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定	まとめ		